



株主のみなさまへ

第142期 中間報告書

平成21年4月1日から9月30日まで

エニシュウ株式会社



CONTENTS

株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10



本社及び工場



浜北工場

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、当中間連結期間におけるわが国経済は、景気対策などにより一部の業界では、生産が戻りつつあるものの、依然として雇用情勢や個人消費の改善、設備投資の回復には至っておらず、引き続き厳しい状況となっております。

このような情勢の中で当社グループは、顧客ニーズに応え得る新製品開発や積極的な販売活動を展開する一方で原価低減および経費削減に努めてまいりました。

しかしながら、売上高は工作機械関連事業部門および輸送機器他関連事業部門ともに大幅に減少し、連結売上高は7,928百万円（前年同期比68.1%減）となりました。

また、損益につきましては、原価低減活動や経費削減等の合理化などに努めてまいりましたが、連結営業損失が760百万円（前年同期は連

結営業利益613百万円)、連結経常損失は771 百万円 (前年同期は連結経常利益538百万円)となりました。連結中間純損益は、異常操業度損失等の特別損失を計上したことにより1,273百万円 (前年同期は連結中間純利益189百万円)の損失となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、受注環境に一部回復の兆しが見られるものの、世界的な景気後退の影響は大きく、依然として先行きは不透明な状況が続くものと思われます。このような状況のもと、積極的な市場の開拓による受注・売上の確保、変動費など生産コスト削減および経費など固定費圧縮により、徹底した経営効率の改善・改革に取り組んでまいります。なお、内部統制につきましては、リスク・コンプライアンス管理等の統制強化を推進してまいります。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立に、全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第142期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分ではなく、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成21年 12月

代表取締役社長

中安茂夫



REVIEW OF OPERATIONS

事業の概況

平成21年4月1日から平成21年9月30日に至る当社グループ
第142期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

当中間連結期間における工作機械業界（日工会）の受注総額は1,969億円（前年同期比73.3%減）となり、厳しい状況が続いております。また、内需857億円（前年同期比72.3%減）、外需1,112億円（前年同期比74.1%減）共に減少いたしました。

このような中で工作機械事業では、中国・無錫のサービス拠点に続き北京に駐在拠点を、インドネシアには現地法人を立上げるなどアジア新興国を中心に積極的に販売活動を展開し拡販に努めてまいりました。しかし、新規顧客を含め引き合いは増加したものの世界的な景気後退の影響は大きく、受注高、売上高ともに減少いたしました。



▲ シリンダーヘッドライン



▲ 立形マシニングセンタEV360T

また、光関連事業につきましては、自動車関連部品および産業機械部品市場をターゲットとして高出力半導体レーザー加工機を投入し、溶接、切断、焼入れ分野への受注活動を展開してまいりました。更に、営業支援のための加工技術の向上、用途開発にも取り組んでまいりましたが、設備投資抑制の動きもあり受注高、売上高ともに前年同期を下回り、採算的には引き続き厳しい状況となっております。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は4,156百万円（前年同期比68.1%減）となり、営業損失は592百万円となりました。

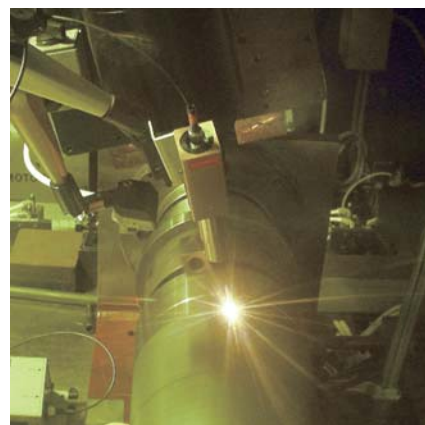
今後も受注環境は厳しい状況が続くと思われますが、中国等のアジア新興国については、需要の回復が期待されています。

営業部門では、中国を中心としたアジア地域での販売・サービス網の構築・強化を図り市場開拓を図ってまいります。

また、顧客からの厳しい価格要求に応えるため、技術、製造部門では、原価低減プロジェクトを立ち上げ、コスト削減に取り組んでまいります。システム機械周辺装置の標準化等によるコスト削減を図り、また、マシニングセンタの製品開発も強化いたします。更に、教育訓練の充実を図り技術・技能の伝承を推進し、生産性向上を図ってまいります。また、内製化や海外調達の拡大により変動費の圧縮やコスト削減を推進してまいります。

その他にも海外現地生産を推進し低価格機械の市場投入を図ってまいります。

光関連事業におきましては、他のレーザーよりも効率の良い高出力半導体レーザー加工機により環境負荷低減効果をアピールした販売戦略を推進し、積極的に拡販してまいります。また、お客様より新素材や新しい加工技術に対する多くの引き合いやお問い合わせにつきましては、引き続き、浜松ホトニクス株式会社および大学との連携を強固にし研究・開発を推進してまいります。



▲ 高出力半導体レーザーによる低ひずみ焼入れ

輸送機器他関連事業部門

当中間連結期間におきましては、自動車部品等の新規取り入れに注力してまいりましたが、主力製品であります大型二輪車用エンジン部品およびバギー車用エンジン部品の大幅な生産減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。



▲ クランクケースライン

以上の結果、輸送機器他関連事業部門の売上高は3,772百万円（前年同期比68.1%減）、営業損失は164百万円となりました。

今後につきましては、大型二輪車及びバギー車用エンジン部品の生産については、景気動向などによる不透明さも懸念されますが、生産量は徐々に回復してくるものと思われます。更なる営業活動により自動車関連の新規製品の取入れを拡大させるとともに、VA／VE提案や原価低減を積極的におこない、工場改革を推進し、生産コスト低減に努めてまいります。また、品質向上に向けての体制の強化、仕組みづくりにも引き続き取り組んでまいります。

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）（平成21年9月30日現在）

（単位 百万円）

項 目	金 額
●資産の部●	
流 動 資 産	11,986
現金及び預金	1,825
受取手形及び売掛金	2,948
有 価 証 券	99
商 品 及 び 製 品	2,949
仕 掛 品	2,189
原材料及び貯蔵品	686
そ の 他	1,307
貸 倒 引 当 金	△21
固 定 資 産	15,198
有 形 固 定 資 産	
機械装置及び運搬具	4,469
土 地	7,472
そ の 他	2,908
無 形 固 定 資 産	65
投 資 そ の 他 の 資 産	
そ の 他	435
貸 倒 引 当 金	△154
資 産 合 計	27,184

項 目	金 額
●負債の部●	
流 動 負 債	7,368
支払手形及び買掛金	2,212
短 期 借 入 金	4,143
未 払 法 人 税 等	14
賞 与 引 当 金	120
そ の 他	879
固 定 負 債	12,708
長 期 借 入 金	8,023
退 職 給 付 引 当 金	2,149
役員退職慰労引当金	99
負 の の れ ん	15
そ の 他	2,420
負 債 合 計	20,077
●純資産の部●	
株 主 資 本	4,028
資 本 金	4,640
資 本 剰 余 金	1,230
利 益 剰 余 金	△1,795
自 己 株 式	△46
評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,073
少 数 株 主 持 分	4
純 資 産 合 計	7,107
負 債 純 資 産 合 計	27,184

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 9 月 30 日
(単位 百万円)

項 目	金 額
売 上 高	7,928
売 上 原 価	7,670
売 上 総 利 益	258
販売費及び一般管理費	1,019
営 業 損 失	760
営 業 外 収 益	203
営 業 外 費 用	214
経 常 損 失	771
特 別 利 益	1
特 別 損 失	515
税金等調整前中間純損失	1,285
法人税、住民税及び事業税	△ 5
法 人 税 等 調 整 額	△ 7
少 数 株 主 利 益	0
中 間 純 損 失	1,273

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

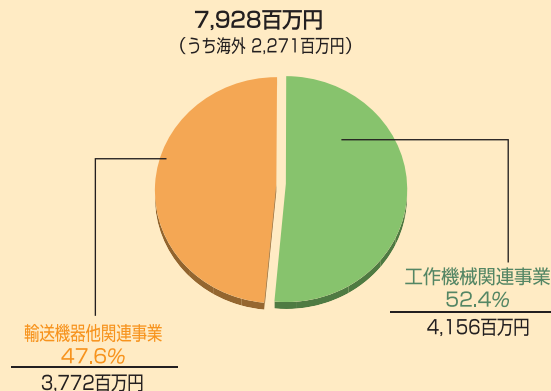
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 9 月 30 日
(単位 百万円)

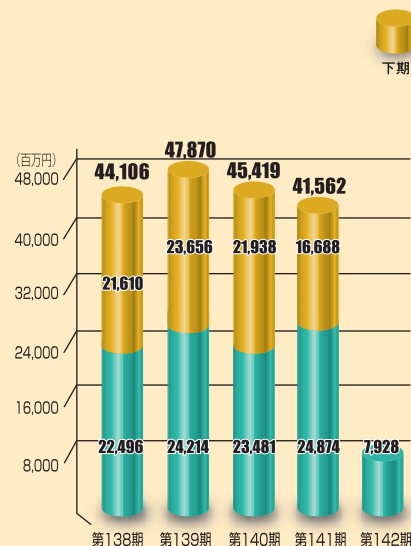
項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 15
現金及び現金同等物の減少額	△ 4
現金及び現金同等物の期首残高	1,830
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,825

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売 上 高



売上高の推移



欧州国際工作機械見本市 (EMO MILANO 2009)

『JIMTOF (東京)』『IMTS (シカゴ)』と並び国際工作機械関連3大見本市である『EMO ショー』が10月5日から10日までイタリア・ミラノのFIERAMILANO (ミラノ国際見本市会場)で開催され、昨年末から続く不況にも関わらず、出展社数は1400社、12万4千人以上の来場者を記録し、関心の高さを示しました。

当社からは欧州市場における主力製品である横形マシニングセンタ『JE60S』を出品し、ヨーロッパを始め世界各国からの来場者に好評を得ました。



中国国際工作機械展示会(CIMT2009)



経済発展が目覚ましい中国での最大規模の工作機械見本市、『第11回中国国際工作機械展示会』が4月6日から11日まで北京の中国国際展覽中心（新館）にて開催されました。

今回当社はこの展示会に初出展し、中国の大型加工機需要に適合した最新鋭の大型横マシニングセンタ『GE90H』と立形マシニングセンタ『EV360』を展示しました。

来場者数は前回を上回る25万人を記録し、当社の小間にも多くのお客様にご来場頂きました。中国市場の力強さが感じられる展示会でした。

STOCK REPORT

株式の状況

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,287,633株 (自己株式 246,913を除く)
資本金	4,640,850,000円

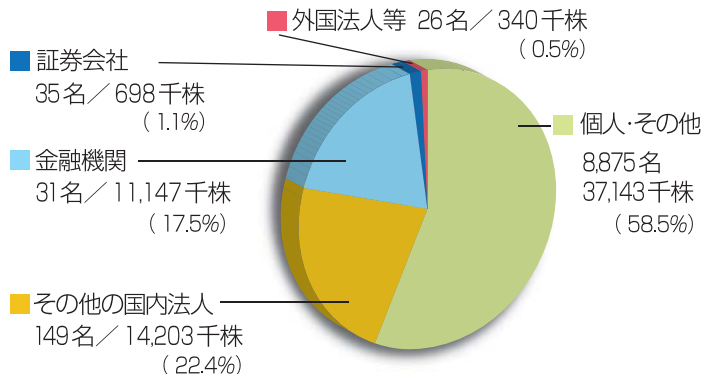
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.20%)
エンシュウ取引先持株会	5,083千株 (8.03%)
丸紅株式会社	3,612千株 (5.70%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.16%)
株式会社みずほコーポレート銀行	1,572千株 (2.48%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.29%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.23%)
株式会社損害保険ジャパン	1,363千株 (2.15%)
明治安田生命保険相互会社	1,197千株 (1.89%)
エンシュウ従業員持株会	699千株 (1.10%)

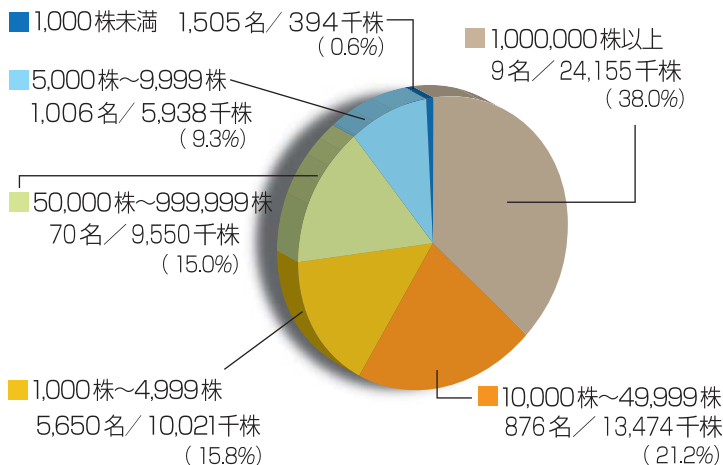
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 9,116名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 9,116名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商	号	エンシュウ株式会社（英文ENSHU Limited）
設	立	大正9年2月5日
資	本	金
発行済株式総数		63,534,546株
株	主	数
従業員数		953名（連結）
生産品目		工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 高崎・金沢・広島・九州

海外現地法人

ENSHU(USA)CORPORATION (シカゴ)

ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)

ENSHU(Thailand)Limited (バンコク)

BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd. (バンコク)

PT.ENSHU INDONESIA (ジャカルタ)

役員

(平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	中	安	茂	夫
専務取締役	千	賀	伸	一
常務取締役	安	田	俊	二
取締役	中	村	泰	之
取締役	小	木	国	典
取締役	中	村	和	夫
取締役	仲	山	正	明
常勤監査役	澤	木	達	治
監査役	石	塚		尚
監査役	菅	沼	幸	雄

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引先の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

単元未満株式(1～999株)を保有されている株主のみなさまへ

**単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。**

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引先の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引先の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>

Enshu
エンシュウ株式会社